

近畿大学教育方針について

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。社会に貢献する実学の追究と人格の育成を基盤としたこの「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会において、いっそう必要とされるものです。

本学が目指すものは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を追及するだけではなく、自分自身が人や社会に貢献できるかを考え、実践していくことです。そのため、学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働する態度」を身につけ、「人に愛され、信頼される、尊敬される」人格への成長を促進することを、近畿大学の教育方針とします。また大学を卒業した後も、生涯にわたって学び、社会を支える高い志をもつ学生を社会に送り出すことが、これからの時代に本学が目指す社会的使命です。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感する入学者を国内外から広く受入れます。本学では、専門領域及び国内外の伝統や文化を理解するための基礎学力を中核と位置づけます。この基礎学力をはじめ、自身の考えを論理的に表現する資質・能力、「人に愛され、信頼される、尊敬される」人格を目指すとする態度、社会貢献の意欲等を、多様な方式により確認し、一定の水準を満たす学生を受け入れます。

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【看護学部】

看護学部は、近畿大学建学の精神に則り、「実学教育」と「人格の陶冶」を目指します。また教育の目的に基づき、多様な人々の生命・健康と尊厳を守り、その人らしい健やかな生活を支えるための確かな看護実践能力を備えた人材の育成に努めます。このために、次のような入学者を広く受け入れます。

- 1 命の尊厳と価値を大切に思い、人に対する思いやりと敬意をもって信頼関係を創ることのできる人
 - 2 保健・医療・福祉の分野に関心を持ち、看護学についてさらに深く追究する意欲のある人
 - 3 看護学の課程を学ぶために十分な基礎学力と継続的学修姿勢を備える人
 - 4 謙虚に学ぶ姿勢を有し、探究心と創造性をもって自ら課題を発見し解決していく意欲にあふれる人
 - 5 多様な価値や文化を理解し、保健・医療・福祉を通じて持続可能な社会の発展に貢献する意欲のある人
- また、看護学部に入学者までに、次のような教科の内容を理解し、それに即した記載の能力を持っていることが望めます。
- | | |
|-------|---|
| 国語 | 語：日本語の読解力と適切に表現する能力と論理的な思考力 |
| 英語 | 語：国際的なコミュニケーション手段として目的に応じて情報や考えを正確に理解し表現できる能力 |
| 数学 | 学：計算や統計の理解に必要な基本的数学能力 |
| 生物・化学 | 学：生物や化学等の自然科学を理解するための科学的思考力と探求力 |

【法学部】

法学部は、近畿大学建学の精神に則り、法学部法律学科の教育目的を実現するため、その教育方針に則って法学部の授業を学び、法治社会の構成員である主体的・自律的に振舞うことのできる市民に成長して卒業していく学生を志すにふさわしい者として、以下に掲げる法律学科での履修に必要な基礎学力を有する入学者を求めています。

- 1 社会の成り立ちと仕組みについて関心・知識を持ち、客観的に考察する意欲のある人。
 - 2 社会の課題を客観的に考え、解決の道筋を探る意欲のある人。
 - 3 ものごとを論理的に考えることのできる人。
 - 4 規律を理解しこれに従って行動することのできる人。
 - 5 自然現象や環境について広く関心・知識を持つ人。
 - 6 社会の中で他者を思いやり、共に成長する意欲のある人。
 - 7 国際社会の一員として他国の文化を知り、その人々と交流する意欲のある人。
- このような人材として、法学部法律学科に入学者までに、次の教科・科目の内容の理解や素養・知識を有していることが望めます。

高等学校主要教科：社会を形成する市民として求められる教養

地歴・公民：1）社会の成り立ち、仕組みや課題についての客観的・批判的な考察
2）公平・正義といった社会の指導的理念に基づいた論理的な思考
3）社会にある規律の理解と遵守

数学・理科：自然現象・環境についての客観的な観察並びに論理的な思考

情報：1）情報とその結びつきの観点に基づく事象の把握と表現
2）情報とその結びつきの適切かつ効果的な活用

国語：同じく社会に生きる他者への配慮と意思の疎通

英語：外国の人々・文化・社会に対する関心と交流

法学部の入学選考では、多元的な評価尺度による入学試験を行ない、冒頭に述べた法学部法律学科での履修に必要な基礎学力を具えた多様な人材を受け入れることを目指しています。

- 1 大学入学共通テストを利用する入学選考においては高等学校主要教科を重視し、公募制推薦入試においては数学、国語、英語（外部試験利用制度もあります）、一般入試においては地歴・公民、数学、国語、英語に関する理解・知識等を測ります。
- 2 指定校推薦、附属特別推薦やスポーツ推薦等の特別入試では、小論文や口頭試問等により上記の基礎学力を測ります。
- 3 総合型選抜入試では、法・政治・国際社会への関心（課題発見を含む。）、公共性・協調性ならびに多様な社会経験・国際的視野について、書類選考（自己PR 動画を含む。）ならびに口頭試問（集団討論を含む。）により基礎学力を測ります。

【経済学部】

経済学部では、本学の「建学の精神」と「教育の目的」に則り、人間が生きる上での基本となる経済活動と、そこから派生する様々な社会経済現象に通底する論理的に読み解き、現代社会を生き抜く力を持った人材として活躍できる学生の育成を目指しています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、

1 人間・社会・経済に対する強い関心を持つ
2 日本語・外国語の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有する
等の資質を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について、推薦入試、総合型選抜入試、一般入試、共通テスト利用入試、外国人留学生入試、編入学試験により確認します。これらのうち、経済学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1（知識・技能） 経済学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2（思考・判断・表現） 社会の課題について、経済学に関連する観点から考察することができる。
- 3（主体性・意欲・態度） 経済学の学修に関する意欲を有している。
- 4（多様な価値観・異文化理解） 多様な価値観や文化に対する関心を有している。

各教科については、以下の内容を理解し、能力を習得していることが求められます。

国語	語：日本語の基礎的な読解力、表現力、論理的な思考力
外国語	（外部試験利用制度もあります）：外国語文献の読解力、異文化への理解
数学	学：論理的な思考力、数的な処理能力
理科	学：科学的な物の見方、社会を支える科学技術への関心
地歴・公民	学：歴史の大きな流れの理解、社会の基本的仕組みの理解
情報	学：情報化の進展に主体的に対応できる能力

【経営学部】

経営学部は、近畿大学の建学の精神と教育の目的、そしてディプロマ・ポリシーに則り、経営の中核を担う企画力と実行力をもつ人材を育成します。このために、次のような人を幅広く受入れます。

具体的には、カリキュラムの学修に必要な基礎学力や資質について、一般公募推薦入試、一般入試、総合型選抜入試等により確認します。経営学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1（知識・技能） 経営学を学修するために必要とされる基礎的な知識や技能を有している。
- 2（思考・判断・表現） 経営に関する諸問題について、経営学に関連する観点から思考、判断、表現することができる。
- 3（主体性・意欲・態度） 経営学の学修に対する意欲を有している。

各教科については、教科の内容を理解していることが求められます。

国語	語：日本語の読解力と論理的な思考力に基づいて、自らの考えを正確に表現する能力。
外国語	語：基礎的な語彙と構文を用いて比較的に簡単な情報を理解し、自らの考えを正確に表現する能力。
地歴・公民	学：地理・歴史・公民の観点から社会の仕組みを捉え、考察する能力。
数学	学：物事を数学的に捉え、考察する能力。
情報	学：情報や情報技術を主体的に活用し、物事を考察する能力。
理科	学：自然現象を観察し、考察する能力。

経営学部は、一般公募推薦入試において、国語または数学、外国語を入試科目とすることで、日本語・外国語の読解力や論理的な思考力だけでなく、物事を数学的に捉えて考える能力を有する学生を求めています。一般入試においては、国語、外国語に加えて数学または地歴・公民を入試選択科目とすることで、日本語・外国語の読解力や論理的な思考力だけでなく、物事を数学的に捉えて考察する能力、社会を理解する基礎的知識と社会の仕組みを分析する基礎能力を有する学生を求めています。総合型選抜入試においては、経営学部のディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを理解し、入学後の明確な目的意識や学修への情熱といった、筆記試験では判定しにくい資質・能力を備えた学生を求めています。これらの達成度については、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価します。

【理工学部】

理工学部は、近畿大学建学の精神に則り、実学教育のもと、社会に求められる創造性豊かな人材を育成します。学部教育の到達目標としてディプロマ・ポリシーを掲げ、これを達成するためのカリキュラムを提供することで、学生が国際化に対応できる学問的素養、適確な判断力、社会をリードする能力を伸ばすことを重視します。各学科への適性を兼ね備えた基礎学力をもつ生徒はもちろんのこと、変化する社会のニーズに応じて多種多様な能力と可能性をもつ入学者を受け入れます。具体的には、カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程にしたがって学修に励み、ディプロマ・ポリシーを達成することができると期待される、次のような資質をもつ入学者を受け入れます。

- 1 理工学部での履修に必要な基礎学力、思考力及び表現力を有し、学修の遂行に意欲をもつ人。
- 2 社会への貢献、公共の福祉を理解し、これらを尊重することのできる倫理観をもつ人。
- 3 知的好奇心があり、自然科学及び科学技術に対して強い関心を有する人。
- 4 将来の目標を定め、目的意識と主体性をもち、多様な人々と協働して学修に取り組むことができる人。

本学部の入学試験では上記の人材を選抜するために、一般選抜における専門科目に関する学力試験、推薦選抜における口頭試問など多様な評価を複数の入学試験で適切な時期に行うとともに、高校時の学業成績なども踏まえ多元的な尺度で評価し、受験生が各自の適性に応じて適切な入学試験を選択できる機会を十分に提供しています。

また、理工学部に入学するまでに、次のようなことを身につけていることが望めます。数学・理科については各学科コースのアドミッション・ポリシーをご参照ください。

国語：日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
外国語：英語文章の大意を汲み取り、表現できる能力、平易な英語を聞きとる能力
数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cのうち、当学部各学科・コースでの学修に必要な内容の基礎知識、計算能力及び論理的思考力
理科：物理、化学、生物のうち、当学部各学科・コースの学修に関連する分野の基礎知識、実験に基づく考察力及び計算力
地歴・公民：社会の仕組みと変化する社会情勢に対応していくための基礎知識及び社会的素養
情報：情報社会における情報収集、分析能力、判断力、対応力など情報処理に関する基本的なリテラシー
特別活動：自主的、協調的な態度と社会への貢献及び公共の福祉と倫理観に関する基本的理解
これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【建築学部】

建築学部は、近畿大学建学の精神に則り、従来の「つくる」ことを主たる目的とした建築学に加え、「守り・育てる」建築学を学ぶ場を提供し、実学教育によって、現代社会の課題を読み解き、その課題解決に貢献する新しい建築を創造する人材を育成します。このために、次のような人材を受け入れます。

「知識・技能」
・建築学の修得に必要な基礎学力を習得している人
・建築関連分野に対して幅広い興味・関心を持つ人
「思考力・判断力・表現力」
・社会における互いの多様な価値観を理解し、これらを尊重することのできる倫理観と国際性を持つ人
・地域環境・地球環境との共生の大切さを理解し、社会に貢献できる新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神を持つ人
「主体性を持って多様な人々と協働する態度」
・謙虚に学ぶ姿勢を有し、自ら課題を発見し解決していく意欲にあふれる人
各教科については、以下の内容を理解していることが求められます。
国語：基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
外国語：目的に応じて情報を得ることができ、考えを正確に理解し、表現できる能力
数学：事象を数理的に考察し表現できる能力
理科：自然現象に対する科学的な思考・判断をするための基礎知識
地歴・公民：変化する社会情勢に対応していくための歴史・風土・政治・経済に関する基礎知識
特別活動：自主的、協調的な態度と奉仕の心

近畿大学建築学部の入学試験では上記の人材を多元的な評価尺度で選抜するために、理系・文系を問わず受験可能な科目選択の方式を採用します。

また、高等教育レベルでの基礎学力に加え、建築に対する意欲・能力を評価することを目的として推薦入試を実施します。

【薬学部】

薬学部は、近畿大学建学の精神、すなわち「実学教育」と「人格の陶冶」に則り、「21世紀の生命科学、基礎薬学、創薬科学、医療薬学、衛生薬学などの基盤に立脚し、医療に貢献できる薬剤師を養成するとともに、これらの薬学分野での研究に貢献し、活躍できる人材の育成を行うことにより、人類の福祉と健康に奉仕すること」を理念とし、薬に関する幅広い専門知識や最先端のテクノロジーに精通したグローバルに活躍できる人材を育成します。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、本学部の理念に共感する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について、個別学力試験（一般公募推薦入試、一般入試／大学入学共通テスト併用方式、外国人留学生入試）、大学入学共通テスト（大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式）、小論文（外国人留学生入試）、面接（指定校推薦入試、外国人留学生入試）により確認します。これらのうち、薬学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1（知識・技能）薬学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2（思考・判断・表現）社会の課題について、薬学的観点から考察することができる。
- 3（主体性・意欲・態度）薬学を主体的に学ぶ意欲を有している。

各教科については、以下の内容を理解していることが求められます。

国語：日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
外国語：目的に応じて情報や考えを正確に理解し表現できる英語の能力
数学：指数関数、統計及び微積分（数学Ⅰ・数学A及び数学Ⅱ・数学B）
理科(化学)：理論化学、無機化学及び有機化学の基礎知識と計算力（化学基礎及び化学）
理科(生物)：基礎知識、実験に基づく考察力及び計算力（生物基礎及び生物）
理科(物理)：電磁気、力学及び熱力学の基礎知識と計算力（物理基礎及び物理）
地歴・公民：変化する社会情勢に対応していくための基礎知識と社会的素養
情報：プログラミングやネットワーク、データベースに関する基礎知識

【文芸学部】

文芸学部は、近畿大学の「建学の精神」、「教育の目的」に則り、それにふさわしい人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ人を入学者として受入れます。選抜の方法は、学科・専攻のアドミッション・ポリシーに則り、筆記試験と実技試験、口頭試問等によって、文芸学部で学ぶ意欲と能力を判定します。

- 1（知識・技能）文芸学部での学修に必要な基礎学力を持ち、言語・文学・歴史・文化・思想・芸術等、人間の文化的な営みを探究し、創造するための知識と技能を持つ人。
- 2（思考・判断・表現）新しい知識や技能を常に修得し、それに基づいて思考・判断・表現を行い、新しい創造と発見に向けて自らを琢磨する能力を持つ人。
- 3（主体性・意欲・態度）社会の中の一員としての責任を自覚し、公共的コミュニケーションを保ちつつ、主体性を持って多様な人々と協働し、社会に寄与する人格の形成を目標とする人。

また、文芸学部に入学するまでに、以下のような科目を履修し、それぞれについて教科書に基づく知識を習得していることが望めます。

国語：日本語の読解力・表現力・論理的思考力、古文の基礎的な能力
地歴・公民：日本史、世界史、地理、政治・経済の基礎知識
数学：数学Ⅰの基礎的な能力
理科：物理・化学・生物・地学のいずれかに関する基礎知識
芸術：音楽・美術・工芸・書道のいずれかを習得
外国語：英語のコミュニケーション・読解・表現についての基礎的な能力
情報：パソコン基本ソフトの活用

【総合社会学部】

本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感し、総合社会学部のディプロマ・ポリシーに示したような人材になることを目指す次のような入学者を受入れます。

- 1 大学での学びに展開できる確かな基礎学力を持った人。
- 2 様々な社会問題や人間行動に関心を持っている人。
- 3 新たな社会のあり方について関心のある人。
- 4 自律的に課題を見出し、論理的・科学的に考えるための素地がある人。
- 5 総合社会学部の学びについて十分な理解がある人。

なお、高校までの科目履修等によって以下のような能力を身につけていることが望めます。

国語：論理的・構造的に思考するための読解力・表現力が身についている
地歴・公民：日本及び世界の情勢や地域特性について総合的に理解している
数学：データ等を用いて論理的・客観的に思考できる基礎的な素養が身についている
外国語：基礎的な技能（読解能力、作文能力と会話能力）と語彙力が身についている
理科：人や社会と自然現象や生態系との関係を科学的に把握しようとする姿勢が身についている
情報：情報を科学的に理解する力と情報を活用する能力が身についている
特別活動：自主的に協調的な態度と環境やまちへの貢献及び利他的な姿勢を身につけている

【国際学部】

国際学部は、近畿大学の建学の精神に則り、グローバル化というかつてないほど大きな社会の転換期を生き抜き、自主性と協調性を持って行動できる「国際教養人」を育成します。このため、次のような入学者を受け入れます。

- 1 本学部における学修のために必要となる各教科の基礎学力を有している。
- 2 高等学校の課程修了に相応しい水準の英語の運用能力を身につけている。
- 3 本学部が提供する留学制度に参加し、留学を通して専修言語の運用力を高め、異文化を深く知る意欲を有している。
- 4 多様な価値観を理解するための柔軟さと、自らの考えを伝えるための表現力を身につけている。
- 5 文化の垣根を越えて人々と主体的に関わり、協働して課題の解決に取り組む意欲を有している。

また、高校までの履修科目等によって、以下のような能力を身につけていることが望めます。

国語：日本語の読解、表現、論理的思考における基礎的な能力
地歴・公民：変動する社会に対応できる社会的基礎知識
外国語：英語の文法知識、基礎的なコミュニケーション力、読解及び作文の能力
数学・情報：論理的思考力、数的処理能力、情報処理能力
理科：基礎的な理科的知識

近畿大学教育方針について

【情報学部】

情報学部では、国際的に通用する高度な学問的素養を持ち、豊かな社会の実現に貢献し、社会的責任を有する自立した技術者の育成を目指しています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、知的好奇心を持ち、情報学術をベースとする工業製品あるいは社会システムへの応用に強い関心を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について面接、筆記試験により確認します。これらのうち、情報学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 情報学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2 (思考・判断・表現) 社会における情報技術の活用や、今後の発展が社会に及ぼす影響について考察することができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 目覚ましいスピードで発展を続ける情報技術を継続的に学修する意欲を有している。

各教科については、以下の内容を理解していることが求められます。

数	学	：数学の公理や定理を活用した推論能力、論理的思考力。
理	科	：自然現象を数式や化学式でモデル化する能力。
外	国	語：文法に則って英文の文意を正確に理解する能力。
国	語	：日本語の基礎的な読解力、及び論理的な記述力。
情	報	：情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する能力。
地	理	：地理的・歴史的事象を多角的に理解し、地域や時代の背景から社会の変化を考察する能力。
公	民	：現代社会の制度や課題を理解し、社会の一員として多様な立場から論理的に判断する能力。

【農学部】

農学部では、近畿大学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感し、地球環境と生命現象に興味を持ち、暮らしに役立つ未来の技術を開拓し、グローバルな視野を持って社会に貢献しようとする人材を育成します。そして、学部の教育理念「積極的なチャレンジ精神を持ち、心豊かで社会に貢献できる人材を育成する」に基づき、社会的ニーズに対応した専門的知識と技術を修得し、豊かな倫理性・人間性を兼ね備えた実践的な人材を育成します。

このため、カリキュラム・ポリシーに示す教育プログラムを学修するために必要な適性を有する学生として、学力の3要素を踏まえて次のような入学者を受け入れます。

- 1 (知識・技能) 1.1 農学部での履修に必要な中核的な資質・能力としての基礎学力を持つ人。
- 2 (思考・判断・表現) 2.1 自分の行動に責任を持ち、福祉や科学倫理、科学技術への理解を深めることができる人。
2.2 課題に対して思考・判断し、自身の考えを論理的に表現する資質・能力を有する人。
- 3 (主体性・意欲・態度) 3.1 自然科学に対して強い知的関心を持つことのできる人。
3.2 「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格を目指そうとする態度や、社会貢献の意欲を有する人。
3.3 将来の目標を定め、目的意識を持って学修に取り組む意欲のある人。

また、農学部に入學するまでに次のような教科の内容を理解し、身につけていることが望めます。

1. 国語
読解力、表現力、作文力
2. 外国語
英語の語彙力、基礎的な読解力、表現力、作文力
3. 理科
化学、生物、物理に関する基礎的な知識
4. 数学
基礎的な計算力と論理的な思考力
5. 地理歴史
現代の社会を理解するために必要な知識と国際的な視野
6. 情報
情報技術を適切に活用してさまざまな情報を得るとともに、その情報の真偽を自分自身で判断できる能力
7. 特別活動
自主的、協調的な態度と奉仕の精神、社会情勢への関心と対応力

農学部は、多様な学生を受け入れるため、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式、総合型選抜入試、外国人留学生入試、編入学試験の7つの方法で入学者の選抜を行います。推薦入試では、一般公募推薦入試に加え、指定校推薦入試と専門高校・専門学科・総合学科等を対象とする推薦入試を実施しています。一般公募推薦入試以外の推薦入試、総合型選抜入試、外国人留学生入試、編入学試験では、口頭試問を課し、幅広い分野から多様な能力を有した学生を求めます。

一般公募推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト併用方式では、近畿大学の個別学力試験を課しています。また、大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式では、大学入学共通テストを課しています。これらの入試では、高い基礎学力を有した学生を求めます。なお、農学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【医学部】

医学部は、近畿大学建学の精神に則り、「実学教育」と「人格の陶冶」を目指します。また教育の目的に則り、「人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される医師」の育成に努めます。本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感し、将来、良き医師として社会に貢献することを志望する下記の資質・能力をもつ入学者を受入れます。

- 1 医学を志し、そのために必要な強い意思と高い理想を持つ人。
- 2 医学の課程を学ぶために十分な基礎学力と継続的学修姿勢を備える人。
- 3 自ら課題を発見し、解決していく意欲にあふれる人。
- 4 奉仕の精神と協調精神に富む人。
- 5 倫理観と責任感に富む人。
- 6 医療を通じて地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人。

また、医学部に入學するまでに、医学学修の基礎となる以下の教科についての履修と十分な知識・理解・修得を望みます。

国	語	：専門教科書レベルの読解力、及び標準以上の表現力、発表力、論理的思考力など
外	国	語：専門教科書レベルの読解力、及び基本的な文章力と会話力
数	学	：「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）・数学C（ベクトル）」
物	理	：物理基礎・物理
化	学	：化学基礎・化学
生	物	：生物基礎・生物
地	歴・公	民：個人と社会を取り巻く様々な状況を理解し、的確に対応するために必要な知識と教養

入学試験での評価は、以下のように行います。

基礎学力については、個別学力試験、大学入学共通テストおよび小論文で評価します。医師としての高い理想、自ら学ぶ意欲、奉仕の精神、協調精神、倫理観、責任感については、小論文、面接で評価します。

【生物理工学部】

生物理工学部では、「建学の精神」と「教育の目的」に基づいて、生命科学と理工学の学際分野の教育研究を通じて、学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働する態度」）を備えた学生を育成し、社会に送り出すことを目標としています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有する学生を受け入れます。

推薦入試では、個別学力試験として英語と選択科目（数学・理科から1科目選択）を課し、高等学校での学習達成度を確認します。

前期（A日程）、前期（B日程）、後期の3つの一般入試では、それぞれ個別に学力試験として英語、理科、選択科目（数学・国語から1科目選択）の3科目を課し、基礎学力と論理的思考力を確認します。

共通テスト利用方式（前期・中期・後期）では大学入学共通テストの英語、国語、数学、理科、地歴・公民、情報から2、3あるいは5科目を課し、基礎学力の学習達成度を確認します。

共通テスト併用方式では、大学入学共通テストの英語、国語、数学、理科、情報より高得点科目として2科目【共通テスト併用方式（A日程）】、2科目【共通テスト併用方式（B日程）】あるいは1科目【共通テスト併用方式（後期）】を利用し、本学の個別学力試験を加えて、自然科学に関する幅広い知識と論理的な課題解決能力を確認します。

本学部の選定基準に達する高校を対象とした指定校推薦入試では、口頭試問により、自然科学に対する高い関心・学修意欲、論理的思考力、表現力などを確認します。

総合型選抜入試では、多面的、総合的な評価により、能力、適性、意欲を確認します。

専門高校、専門学科・総合学科等の学科を対象とする推薦入試では、小論文と口頭試問により、学修意欲、論理的思考力、特別活動・課外活動などを確認します。

留学生入試では理科の基本的な学力と日本語運用能力を確認します。

生物理工学の学修に必要な以下の基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 生物理工学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2 (思考・判断・表現) 社会の課題について、生物理工学に関連する観点から考察することができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 生物理工学の学修に関する意欲を有している。

また、各教科に関しては、以下の資質を有していることが求められます。

国	語	：国語を適切に用いて自分の考えを的確に伝える能力と、文章を論理的に正しく読み解く能力
外	国	語：英語を用いて情報や考えなどを理解し伝える基礎的な能力と、積極的にコミュニケーションを図る態度・姿勢
数	学	：数学における基本的な概念や原理を理解し、数学的な見方や論理的な考え方を身につけて、積極的に活用する能力
理	科	：自然に対する関心や探究心があり、観察や実験などを通じて、人間と自然のかかわりや生物とそれを取り巻く環境について総合的に考察する能力
地	歴・公	民：世界の生活・文化の歴史的・地域的特色について理解し、社会の一員として主体的に生きる自覚と態度・姿勢
情	報	：情報に関する科学的な見方・考え方を有し、情報化の進む社会に積極的に参画することができる能力

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【工学部】

工学部では、近畿大学建学の精神に則り、持続可能な社会を築くための技術者・研究者の育成を目指しています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎能力を有するとともに、高い人格と倫理観や国際化時代を生き抜く力を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について総合型選抜、学校推薦型選抜、一般公募推薦、一般入試、共通テスト利用方式、共通テスト併用方式、外国人留学生入試、編入学試験により確認します。これらのうち、工学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 工学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2 (思考力・判断力・表現力) 社会における多様な価値観を理解し、尊重できる倫理観を有している。
- 3 (主体性・意欲・態度) 工学の学修に関する意欲、新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神、国際的な視点に立つて行動しようとする意欲を有している。

各教科については、以下の能力を身につけていることが求められます。

- 国語：基礎的な日本語を読み解き、適切に表現し、論理的に思考することができる能力
- 外国語：基礎的な語彙と構文を理解し、自身の考えを表現することができる能力
- 数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)の内容を理解し、事象を数学的に表し、問題解決できる能力
- 理科：「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の内容を理解し、自然現象を科学的に説明することができる能力
- 地理歴史、公民：「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」「地理総合、地理探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」の内容を理解し、それぞれの分野から社会を考察することができる能力
- 情報：「情報Ⅰ」の内容を理解し、適切に活用することができる能力
- これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【産業理工学部】

産業理工学部は、本学の建学の精神と教育の目的に則り、文理協働の発想に根ざした高いコミュニケーション能力と自ら課題を発見し解決策を見出していく能力を身につけ、社会で「フロンティア人材」として活躍できる学生の育成を目指しています。そのため、提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力等の能力を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について多様な入試制度により確認します。これらのうち、産業理工学部の学修に必要な基礎学力(知識・思考・判断)については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 産業理工学部の課程を学修するに当たって必要となる、自然科学や人文・社会科学の基礎知識や技能を有している。
- 2 (思考・判断・表現) 新たなテクノロジーやイノベーション、世界の動向などに強い関心があり、専門分野に偏ることなく幅広い観点から考察することができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 実学教育と文理協働の発想に基づく教育に共感し、大学で学んだことを生かして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有している。

(入学前に学習すべきこと及び各教科に求められる理解内容)

高等学校で学ぶ数学、国語、外国語はすべての分野に通じるので、十分な基礎学力を身につけておいてください。理科、地理歴史・公民、情報については、専門分野と関係のある科目を中心に応用力も磨き、専門分野と直接関係の無い科目についても多様性を広げ世界の動向を理解するのに役立つので興味を持って学習してください。また、思考力、判断力、表現力を身につけるとともに、物事に対する探究心と主体的に問題を解明・解決する姿勢を養ってください。

各教科では、以下の内容を理解していることが求められます。

- 国語
- ・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に利用できる能力。
 - ・他者との間での確に伝え合い、思考し想像できる能力。
- 外国語
- ・外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる能力。
 - ・日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解し適切に表現することができる能力。
- 数学
- ・数学における基本的な概念や原理・法則を理解できる能力。
 - ・物事を論理的に考察し、その本質や他との関係を数学的に表現・処理する能力。
- 理科
- ・自然現象についての理解を深めるために必要な観察、実験などを行う能力。
 - ・見通しを持って観察や実験などを行い、科学的に探究することができる能力。
 - ・自然の事物・現象に関係する科学の法則や原理を利用することができる能力。
- 地理歴史・公民
- ・日本と世界の歴史、及び現代の倫理・政治・経済の仕組みを理解するとともに、資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる能力。
 - ・地理や歴史的出来事の意義、及び相互の関連を多面的に考察し、効果的に説明することができる能力。
 - ・現代社会の問題について、多面的に考察し公正に判断する力や社会参画を視野に入れて議論することができる能力。
- 情報
- ・情報社会と人との関わりを理解し、情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決することができる能力。
 - ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる能力。

(入学者選抜の基本方針)

産業理工学部では、提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力等の能力を有する人材を選抜するために、多様な入試制度を設けています。

- 1 推薦入試(一般公募)では、個別学力検査において外国語、及び数学もしくは国語からの1教科(計2教科)選択によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価します。
- 2 一般入試では、個別学力検査において外国語、数学もしくは国語、及び理科(物理、化学、生物)もしくは地理歴史(世界史、日本史、地理)からの1科目(計3教科3科目)選択によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価します。
- 3 共通テストを利用した共通テスト利用方式では、外国語、国語、数学、理科、地理歴史、公民、情報の試験結果よりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価します。また共通テストと本学一般入試から各2科目の成績を選択し評価する共通テスト併用方式による判定も行っています。
- 4 総合型選抜では、教科に関する筆記試験によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、口頭試問もしくは課題に対するプレゼンテーション及び出願書類によって、多面的、総合的に各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。
- 5 その他の推薦入試(学校推薦型選抜)では、出願書類によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、口頭試問により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。
- 6 スポーツ推薦入試では、高等学校長が提出した調査書等の書類によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、技能試験と口頭試問により当該スポーツ種目(硬式野球)に関する技能・実績と当該学科(経営ビジネス学科)で学ぶ意欲を有している人を選抜します。
- 7 外国人留学生入学試験では、日本留学試験の活用と口頭試問によって、カリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、口頭試問により専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。
- 8 編入学試験では、大学をはじめとする出願資格に定める各種学校が発行した成績証明書等により専門分野に関する科目の修得状況に加え、編入志望学科が定める専門分野の科目の筆記試験によりカリキュラムの学修に必要な学力を評価し、口頭試問により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。

【短期大学部】

短期大学部では、ビジネスの現場で必要とされる力を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。そのため、本学が提供するカリキュラムに積極的に取り組む意欲を持ち、学修に必要な基礎的な知識や能力を備えた入学者を受け入れます。

(求める人物像)

- 1 (知識・技能) 経営学・商学・経済学の基礎を学ぶために必要となる知識や技能を備えている。
- 2 (思考・判断・表現) 経済や経営の出来事に関心を持ち、自分の考えを経営学・商学・経済学の視点から整理し、的確に伝えることができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 経営学・商学・経済学を学ぶ意欲を持ち、自ら積極的に学び、他者と協力して課題に取り組もうとする姿勢を備え、生涯にわたり学び続ける意欲を有している。

(入学前に学習しておくべき内容)

各教科については、以下に示すような能力や素養を身につけていることが望まれます。

- 国語：日本語の文章を読み、理解する能力及び論理的に活用できる能力
- 外国語：英語を用いて「聞く・話す・読む・書く」の基本的なコミュニケーションができる能力
- 地理歴史・公民：社会や経済の仕組み、歴史の流れなどの基礎知識を理解し、現代社会の課題を自ら考え説明できる能力
- 数学：データの処理や解釈に必要な数学的知識と計算能力
- 理科：自然現象を科学的に理解・考察し、主体的に探究できる能力
- 情報：情報や情報技術を主体的に活用できる能力
- 特別活動：自主的行動力、協調的姿勢、コミュニケーション能力、奉仕の精神

(入学者選抜の基本方針)

本学の教育目的を理解し、学修意欲や知識・能力を有する人を適切に選抜するために、複数の受験機会と多様な入試制度を設けています。これらのうち、経営学・商学・経済学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 推薦入試(一般公募)では、個別学力検査において外国語(英語)、及び数学もしくは国語からの1教科選択により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。加えて高等学校長が提出した推薦書等をもとに、専門分野の修学に必要な教科の履修状況や学習に対する意欲・姿勢を評価します。
- 2 一般入試では、個別学力検査において外国語(英語)、国語、地理歴史又は公民もしくは数学からの1科目選択により高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。
- 3 大学入学共通テスト利用方式入試では、外国語(英語)、国語、数学、理科、地理歴史、公民、情報の科目を通じて、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。
- 4 上記のほか指定校推薦入試・附属特別推薦入試・スポーツ推薦入試等では、小論文や口頭試問等を通じて、学修意欲、思考力、判断力、自分の考えを他者に伝える表現力を総合的に評価します。

なお推薦入試(一般公募)及び一般入試での個別学力検査では、受験した科目の中から最も得点の高い1科目を合否判定に使用します。これにより、特定の教科・分野における優れた能力を重視した選考を行います。